

ロードボランティアみやぎ

Vol. 6

〔第6号〕平成26年2月25日発行

発行：宮崎河川国道事務所
道路管理第一課・調査第二課
〒880-8523
宮崎市大工二丁目39番地
TEL0985-24-8511

自分達の地域は自分達が守る ～「鵜戸山をかつとしやる協議会」さん～

「自分達の地域は自分達が守る」、「やれることからやる」を合言葉で「鵜戸山の自然と歴史を生かしたふるさとづくり事業」を推進するのは、日南市鵜戸地区を拠点とする『鵜戸山をかつとしやる協議会』の皆さん。（「かつとしやる」とは、日南の方言で「順序よくやる」の意味。）

国道220号沿いでは、歩道の清掃や植栽帯の花植え、手入れを行う。また、地域内を流れる川や海岸の美化活動、歴史ある鵜戸街道の調査・整備、ふるさと鵜戸山まつりとその活動の幅は広い。

日頃の環境整備の甲斐もあり、御手洗川の流域で多くのホテルが見られるようになった。また、春には、国道220号沿いでは、手入れを行っている山桜が美しく咲く様子を見ることができる。



活動の様子



国道220号 新鵜戸トンネル付近



活動を行う「鵜戸山をかつとしやる協議会」の皆さん。
いつもありがとうございます。

ボランティア・サポート・プログラムについて

道路の植栽帯の管理は、通常、例えば国道220号であれば国土交通省が行っています。それに、地域住民が加わり、地域にふさわしい道づくりを行う中で、コミュニティも生まれ、地域も活性化する、そんな風に「ボランティア・サポート・プログラム（※）」が生かされていけばいいと思います。

※ボランティア・サポート・プログラムとは、地域住民や諸団体・企業等と道路管理者において協定を結び、道路敷地の植栽帯等において、その地域住民（団体等）が清掃や除草を含めた植栽の維持管理の一部を行うものです。

KEEP THE ROAD CLEAN !